

## 第27回文化遺産国際協力コンソーシアム研究会（ウェビナー） 「コロナ禍における文化遺産国際協力のあり方」

文化遺産保護に関する国際協力に関連して、各機関・プロジェクトがコロナ禍中においてどのように対応しているのかについて、文化遺産国際協力プロジェクトに携わってきた専門家が講演し、コロナ禍における文化遺産国際協力のあり方とその可能性についてパネルディスカッションを行った。

日 時：2020（令和2）年9月5日（土） 14:00～15:30

会 場：オンライン（Zoom ウェビナー）

主 催：文化遺産国際協力コンソーシアム

参加者：151名

講 演：・長岡正哲（UNESCO プノンペン事務所 文化部主任）

「コロナ禍におけるアンコール遺跡保存事業の状況」

・渡部展也（中部大学人文学部歴史地理学科 准教授）

「デジタルツールを利用したリモート国際協力事業の例」

パネルディスカッション：

司会 關雄二（国立民族学博物館 副館長／文化遺産国際協力コンソーシアム 副会長）

パネリスト

山内和也（帝京大学文化財研究所 教授）

長岡正哲

渡部展也

友田正彦（文化遺産国際協力コンソーシアム 事務局長／東京文化財研究所 文化遺産国際協力センター長）

（受託「文化遺産国際協力コンソーシアム事業」の一部として実施）

## 第28回文化遺産国際協力コンソーシアム研究会（ウェビナー） 「文化遺産とSDGs III ―地域社会における文化遺産の役割を考える―」

本研究会は、2015（平成27）年9月に国連総会で採択されたSDGs（持続可能な開発目標）に関連して、2018（平成30）年度からシリーズ開催してきた研究会「文化遺産とSDGs」の最終回として実施した。「共存・共生」をキーワードに生業支援、教育、歴史的・文化的環境保全といった観点から、持続可能な地域コミュニティの形成と文化遺産の双方向的な関係について議論を行った。

日 時：2021（令和3）年1月31日（日） 13:30～15:15

会 場：オンライン（Zoom ウェビナー）

主 催：文化遺産国際協力コンソーシアム

参加者：134名

講 演：・チャントソン・インタヴォン（女性技能開発ホアイホンセンター 代表）

「ラオスにおける女性技能開発のための伝統工芸技術の継承と普及」

・チア・ノル（アンコール人材養成支援機構（JST）代表）

「アンコール遺跡周辺地域の持続的発展のための地域支援活動及び遺跡保全活動」

・中村浩二（金沢大学 名誉教授・石川県立自然史資料館 館長）

「持続的発展のための人材育成：世界農業遺産（GIAHS）「フィリピン・イフガオ棚田」と「能登の里山里海」の連携事業」

パネルディスカッション：

ファシリテーター 飯田卓 (国立民族学博物館 教授)

パネリスト

チャンタソン・インタヴォン

チア・ノル

中村浩二

飯田卓

佐藤寛 (アジア経済研究所 上席主任調査研究員)

・まとめ

佐藤寛

(受託「文化遺産国際協力コンソーシアム事業」の一部として実施)

## インターネット公開

### 「いんたんじぶる」

防災をはじめとする無形文化遺産の情報収集・情報発信を目的として作成した、一般向けサイト。「コレクション欄」の「動画アーカイブ」「ブックス」のページから無形文化遺産関連動画、関連PDFへのアクセスが可能。「無形文化遺産総合データベース」への導入的役割を果たすとともに、伝承者と研究者や関係者とのネットワーク構築を目指す。

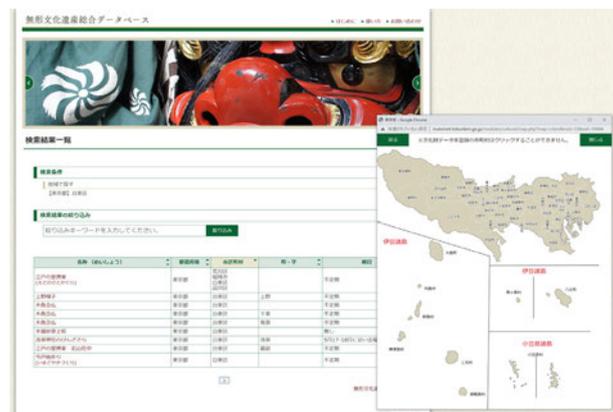
(文化財防災ネットワーク推進事業の一部として実施)



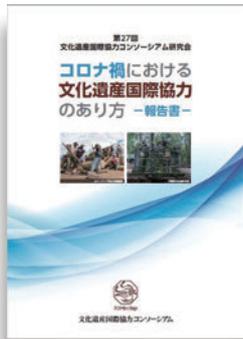
### 「無形文化遺産総合データベース」

文化庁および都道府県からの提供を受け、文化財防災を目的とした「全国文化財等データベース」(非公開)を無形文化遺産部・文化財情報資料部とで作成している(無形の文化財：約7,100件、有形文化財：約4,500件)。その中から無形文化遺産を抽出した公開用の「無形文化遺産総合データベース」を作成、今年度は約6,000件を入力・整理して公開している。

(文化財防災ネットワーク推進事業の一部として実施)



## 受託調査研究の一環として刊行された刊行物



### 『第27回文化遺産国際協力コンソーシアム研究会「コロナ禍における文化遺産国際協力のあり方」報告書』

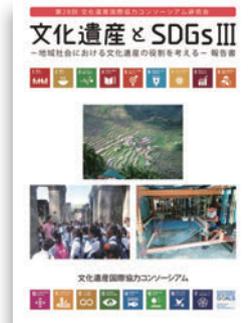
本冊子は、2020（令和2）年9月5日に開催された第27回文化遺産国際協力コンソーシアム研究会（ウェビナー）「コロナ禍における文化遺産国際協力のあり方」の内容をまとめた報告書である。2021年3月刊行、27ページ。

（文化遺産国際協力コンソーシアム事業の一環として実施）

### 『第28回文化遺産国際協力コンソーシアム研究会「文化遺産とSDGs III—地域社会における文化遺産の役割を考える—」報告書』

本冊子は、2021（令和3）年1月31日に開催された第28回文化遺産国際協力コンソーシアム研究会（ウェビナー）「文化遺産とSDGs III—地域社会における文化遺産の役割を考える—」の内容をまとめた報告書である。2021年3月刊行、138ページ。

（文化遺産国際協力コンソーシアム事業の一環として実施）



### 『文化遺産の国際協力』

本冊子は、国際協力分野における我が国の貢献及び文化遺産国際協力コンソーシアムの活動について理解が深まるよう、文化遺産の国際協力についてまとめたものである。2021年3月刊行、10ページ。

（文化遺産国際協力コンソーシアム事業の一環として実施）



### 『文化遺産国際協力コンソーシアム 国際協力調査 海域交流ネットワークと文化遺産令和2年度 調査報告書』

本冊子は、文化遺産国際協力コンソーシアムが令和2年度に行った国際協力調査「海域交流ネットワークと文化遺産」の報告書である。世界各地の現状を把握するため行ったアンケート調査の結果をもとに、各地域の状況について掲載している。2021年3月刊行、73ページ。

（文化遺産国際協力コンソーシアム事業の一環として実施）



### 『VERNACULAR HOUSES in Bhutan, Western Central Area, Thimphu, Punakha, Paro, Haa』

ブータンの文化遺産保護関係者の伝統的民家に対する認識を高めることを目的とした民家建築の参考図書。ブータン内務文化省文化局（DoC）との共同調査を通じて把握した顕著な特徴をもつ同国内西部地域の民家41件の解説を中心に、集落と民家の考察、民家の保存に向けた措置と提案、民家建築保存のためのワークショップの記録を収録。英語、2021年3月刊行、238ページ、DoCと連名による刊行。

（ブータン王国の歴史的建造物保存活用に関する拠点交流事業の一環として実施）

